

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成17年10月12日(水) 授業1
学 級 1年4組 男子16名 女子14名 計30名
場 所 1年4組教室
授業者 教諭 佐々木 淳奈

1 単元名 くらべてよもう 「じどう車くらべ」 (光村図書)

2 単元について

(1) 教材観

第1学年及び第2学年における「C読むこと」の目標は「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。第1学年及び第2学年の読みの力は、書かれていることの大体をとらえることが基礎となる。そのためには、まず順序に従って内容を押さえたり、場面の様子に気付きながら読み取ったりすることが必要になる。それぞれ取り扱う教材によって順序のとりえ方も異なるが、本教材「じどう車くらべ」では、「仕事と作りという2つの事柄の因果関係を考える」ことを「書かれている事柄の順序に気付く」ことととらえた。

本教材「じどう車くらべ」は、この時期の児童の一番好きな題材を取り上げ、主体的な理解・表現活動を促す教材構成になっている。また、この文章では、自動車の機能と構造を関連付けて考えるように書かれている。条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう機能と構造の関連を明確にさせることができ、関係認識の初歩的な指導に適している。また、児童の興味関心を生かし、読書活動に結び付けて、調べたり表現したりする活動へも発展させたい。

(2) 児童観

学習意欲が高い児童である。1学期は、平仮名、長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「を」「へ」の使い方、主語述語の入った一文を書くという学習をしてきた。2学期になって漢字の学習が加わり、本教材「じどう車くらべ」からは片仮名が登場する。入学した時点で平仮名46文字を読み書きできていた児童と自分の名前を書くだけで精一杯だった児童との差はなかなか縮まらないというのが現状である。

音読は、1学期から毎日家庭学習で取り組んでいる。授業でも一斉読み、役割読み、リレー読みなど様々な形態を取り入れてきた。句読点に気をつけたり、リズムを感じたりしながら音読できる児童が多い反面、拾い読み段階の児童もいる。

入学して初めて出会った説明文は「いろいろなくちばし」であった。鳥のくちばしの特徴を記した文章で、児童は説明されている事柄を正確に読み取ることを学ぶとともに、説明文の基本的なパターンである「問い 答え」とその文型を学んだ。さらに、いろいろな鳥のくちばしの形を自分の言葉で表現してクイズを作り、クイズ大会を楽しむことができた。

(3) 指導観

本教材では、「いろいろなくちばし」の学習を踏まえて題材に「自動車」を取り上げ、説明の仕方は、「課題・問題提起 問題に対する説明」を自動車の仕事と作りという2つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。それぞれの自動車の説明がそのような形になっていることに気付かせたい。また、「そのために」という言葉が果たしている役割を児童に分かる言葉で話したり、児童に気付かせるように促したい。さらに題名は、働く自動車といったような内容総括的なものではなく、「じどう車くらべ」となっているので、観点に沿って一貫して読んでいくという最も基本的な比べ方の大切さ、「比較」という認識の方法を学ばせていきたいと考える。

さらに、教材文の読み取りの後、様々な資料や情報を集め、この文章で学んだ形式を生かしながら自分の好きな自動車でクイズを作り、クイズ大会をしたい。楽しい読み取りを体得させると同時に、確かな言語能力、情報活用能力を身に付けさせたいと考える。

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲 ・態度	自動車の仕事や作りに興味をもって、楽しみながら自動車クイズをしようとする。	・自動車の仕事や作りに興味をもって文章を読み、意欲的に自動車クイズを作ろうとしている。
書くこと	教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。	・自分の好きな自動車について仕事と作りを明らかにしながら、自動車クイズを書いている。
読むこと	三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。 語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読むことができる。 乗り物の本などに興味をもち、探して読むことができる。	・三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながらそれぞれの部分に書かれてある事柄を読んでいる。 ・仕事と作りのまとまりを考えながら、声に出して読んでいる。 ・乗り物の本などに興味をもち、探して読んでいる。
言語事項	片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。	・片仮名を正しく読んだり書いたりしている。

4 単元の指導・評価計画(11時間扱い)

段階	時間	目 標	主な学習活動 ・学習活動 ・主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)	具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
					A:十分満足できると判断する視点	B:概ね満足できると判断する視点	
とらえる	1	教材文を読み、自動車クイズを作るといふ学習活動について知ることができる。	これからどんながくしゅうをするかをしよう。 ・知っている自動車について自由に発表する。 ・挿し絵を見ながらどんな自動車が出てくるかを知り、教材文を読む。 ・自動車クイズを作ることを知り、問いと答えの文の構成に気付き作り方を理解する。 「いろいろなくちばし」の学習を想起させ、自動車クイズのイメージをつかませる。	教材文に興味をもち、自動車クイズを作ろうとしている。 【関心・意欲・態度】 (観察・振り返り)	知っている自動車について自由に発言し、意欲的にクイズ作りをしようとしている。	知っている自動車の名前を挙げ、クイズ作りに関心をもってしている。	自動車載っている本を紹介し興味をもたせる。
	2	筆者の観点到気付くことができる	ひっしゃがじどう車のどんなところをみているかみつけよう。 ・筆者が自動車のどんなところを見ているのかを知り、読み取りの視点をつかませる。 ・新出の漢字や片仮名を読んだり書いたりする。 仕事と作りをpushさせさせる。	「仕事」と「作り」の2つの観点到気付いている。 新出の漢字や片仮名を読んだり書いたりしている。 【読むこと・言語事項】 (観察・ワークシート・ノート)	自分たちがあげた車の説明と筆者の観点的に気付き、「仕事」と「作り」の観点が分かっている。 新出の漢字や片仮名を読んだり、筆順や字形に気を付けて書いている。	「仕事」と「作り」の2つの観点が分かっている。 新出の漢字や片仮名を読んだり、書いたりしている。	全文に着目させ、問いの文に気付かせる。 新出の漢字や片仮名を教師と一緒に読み書きさせる。

ふ か め る	3	挿絵を手掛かりにしてバス・乗用車の仕事と作りを読み取ることができる。	バスやじょうよう車のつくりはどうなっているのだろう。 ・バスや乗用車の仕事と作りの二つのまとまりがあることに気付く。 ・前文とバスや乗用車の文を対比させながら三文の内容をしっかりと読み取らせる。 挿絵を手がかりに作りを見つけさせる。	バスや乗用車の仕事と作りを関連づけて読み、作りを読み取っている。 【読むこと】 (観察・ワークシート)	バスや乗用車の仕事と作りを関連づけて読み、様子や理由を交えて作りを読み取っている。	バスや乗用車の仕事と作りを関連づけて読み、作りを読み取っている。	仕事と作りの関連に気付かせ、教師と一緒にまとめさせる。
	4	挿絵を手掛かりにしたり、バスや乗用車と比較したりすることによって、トラックの仕事と作りを読み取ることができる。	トラックのつくりはどうなっているのだろう。 ・トラックの仕事を読み取る。 ・バスや乗用車とトラックを比べ、作りの違いは、仕事の違いとつながっていることを知る。 ・仕事と作りの関連を知り、「そのために」という言葉の役目を理解する。 挿絵を手がかりに、仕事や作りに気付かせ、比較を通して読み取らせる。	トラックの仕事と作りを関連づけて読み、作りを読み取っている。 【読むこと】 (観察・ワークシート)	トラックの仕事と作りを関連づけて読み、様子や理由を交えて作りを読み取っている。	トラックの仕事と作りを関連づけて読み、作りを読み取っている。	仕事と作りの関連に気付かせ、教師と一緒にまとめさせる。
	5	挿絵を手掛かりにしたり、バスや乗用車・トラックと比較したりすることによって、クレーン車の仕事と作りを読み取ることができる。	クレーン車のつくりは、どうなっているだろう。 ・クレーン車の仕事を乗用車やトラックの仕事と比較しながら読み取る。 ・クレーン車の作りについて読み取る。 挿絵を手がかりに、仕事や作りに気付かせ、比較を通して読み取らせる。	クレーン車の仕事と作りを関連づけて読み、作りを読み取っている。 【読むこと】 (発言・ワークシート)	クレーン車の仕事と作りを関連づけて読み、様子や理由を交えて作りを読み取っている。	クレーン車の仕事と作りを関連づけて読み、作りを読み取っている。	仕事と作りの関連に気付かせ、教師と一緒にまとめさせる。
ひろ げ る 本 時 チャ ャ	6	はしご車の仕事と作りについての話し合いを通して、クイズを作ることができる。	はしご車クイズをつくらう。 ・はしご車の仕事と作りについて話し合う。 ・クイズの書き方を理解する。 話し合いを生かして、クイズを作らせる。	はしご車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。 【書くこと】 (観察・学習シート)	はしご車の仕事と作りを関連させて、分かりやすくクイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを教え、教師と一緒にクイズ文を書かせる。
	7 8	自動車の本を読んで、クイズを作りたい自動車を決めることができる。	クイズをつくりたい自動車を探らぼう。 ・学級文庫や図書館で自動車の本を探して読む。 ・好きな自動車を選び、仕事と作りを読み取る。 じっくり時間をかけて本を読ませ、クイズを作りたい自動車を	本を選んで読み、クイズを作りたい自動車を決めている。 【関心・意欲・態度】 (観察・ワークシート)	本を選んで読み、クイズを作りたい自動車を決めて、仕事と作りを詳しく読み取っている。	本を選んで読み、クイズを作りたい自動車を決めている。	本を教師と一緒に選び、読ませ、クイズを作りたい自動車を決めさせる。

		自己決定させる。				
9 10	いろいろな自動車の仕事と作りをふまえて、クイズを作ることができる。	じぶんの好きな車のクイズをつくらう。 ・選んだ自動車について、仕事や作りなどの説明の文を書く。 個人差があるので、早く終わった児童には説明を詳しく書かせたり、次の車のクイズを作らせたりする。	自分の好きな自動車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。 【書くこと】 (観察・学習シート)	自分の好きな自動車の仕事と作りを関連させて分かりやすくクイズ文を書いている。	自分の好きな自動車の仕事と作りを関連させてクイズ文を書いている。	仕事と作りを教師と一緒に考え、クイズの文型を参考にしながら書かせる。
11	出来上がった自動車クイズを発表しながら達成感を味わうことができる。	じどう車クイズ大会をしよう。 ・完成したクイズを出し合う。 ・友達のクイズのよい点を話し合う。 相互評価により友達のよさを知ったり、クイズ完成の達成感を味わったりさせる。	友達の作ったクイズのよいところや面白さを見つけようとする。 【関心・意欲・態度】 (観察・発表)	自分のクイズと比べながら友達のクイズのよいところやおもしろいところを見つけ、発表しようとする。	友達の作ったクイズのよいところや面白さを見つけようとする。	自分のクイズと似ているところや違うところを見つけさせる。

チャ...チャレンジ学習

5 本時の学習指導(6/11)【チャレンジ学習】

(1) 目標

はしご車の仕事と作りについての話し合いを通して、クイズを作ることができる。

(2) 基礎・基本とのかかわり

「じどう車くらべ」の学習では、教科書にある挿絵を手がかりに、自動車と仕事と作りの関係に着目しながら順序に従って内容を読み取ってきた。これは、第1学年及び第2学年における「C読むこと」の「イ時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」という目標の内容にあたるものである。そのモデル学習を基に、本単元のチャレンジ学習のねらいは次の3点である。

いろいろな自動車の仕事と作りに着目し、自分の言葉で表現する力を養う。

相手に分かりやすく伝えるために、自動車の仕事と作り等を意識しながら書く活動を行うことができる。

クイズ作りやクイズ大会を通して、楽しんで表現する態度を養うとともに、いろいろな本に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

(3) 本時の指導にあたって

今までの3台の自動車の読み取りの学習を生かし、はしご車についてクイズを作る活動を行う。活動にあたっては、はしご車の仕事と作りを十分に話し合わせてから、クイズを作る活動に入りたい。その際に、仕事と作りは関連していることに気付かせたい。また、クイズの型は、1学期に学習した「いろいろなくちばし」で扱った文末表現を示し、既習事項を使いたい。そして、自分が選んだ好きな自動車でクイズを作る次の活動につなげたい。

(4) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
とらえる 5分	1. 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">はしご車クイズをつくらう。</div>	・前時までの学習を想起させ、学習課題を把握させる。	・前時までの紙板書
ふかめる	2. 課題解決のための見通しをもち、本時の言語活動を確認する。 ・全文音読により、クイズを作るという言語活動に意欲をも	・自動車には、仕事と作りがあることを確認させる。	

<p>35分</p>	<p>つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> はしご車の仕事と作りを話し合う。 <p>3. 自分の力で学習の解決を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> クイズの型を知り、はしご車の仕事と作りを書く。 <p>【評価規準Bの例】</p> <p>ぼくは、かじのとき、たかいところにいるひとをたすけます。</p> <p>そのために、はしごがついています。</p> <p>ぼくは、だれでしょう。</p> <p>4. クイズを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の書いたクイズを発表する。 友達のクイズのよい所を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵を参考にはしご車の仕事と作りをみんなで話し合わせ、共通理解をさせる。 仕事と作りが関連していることに気付かせたい。 クイズの型を提示し、書き方を確認させる。 仕事と作りをつなぐ言葉「そのために」を確認する。 自分の言葉で表現できるように机間指導をする。 早く書き終わった児童には、クイズを分かりやすく相手に伝えるために、声を出して発表の練習をさせる。 <p>【評価規準（書くこと）】</p> <p>はしご車について仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。 (観察・ワークシート)</p> <p>【具体の評価規準】</p> <table border="1" data-bbox="703 943 1236 1283"> <thead> <tr> <th colspan="2">具体の評価規準</th> <th>努力を要すると判断された児童への具体的な手立て</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はしご車の仕事と作りを関連させて、分かりやすくクイズ文を書いている。</td> <td>はしご車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。</td> <td>はしご車の仕事と作りを教え、教師と一緒にクイズ文を書かせる。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ペアで自分の書いたクイズを発表し、友達のクイズのよさを見つけ、話し合わせる。 	具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	A	B		はしご車の仕事と作りを関連させて、分かりやすくクイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを教え、教師と一緒にクイズ文を書かせる。	<ul style="list-style-type: none"> はしご車の挿絵 学習シート
具体の評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て										
A	B											
はしご車の仕事と作りを関連させて、分かりやすくクイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを関連させて、クイズ文を書いている。	はしご車の仕事と作りを教え、教師と一緒にクイズ文を書かせる。										
<p>ひろげる5分</p>	<p>5. 本時の自己評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の学習を振り返り、次時の学習への意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習について振り返らせ自己評価をさせる。 次時は自分の好きな車でクイズを作ることを確認する。 										

(5) 板書計画

じゅうしん車くわん

はしご車クイズをつくらう

《かじのとき》

はしご車の
挿絵

しゅう

そのために

つくり

- ・ながいはしごがついている。
- ・あしがしっかりついている。
- ・むせんがついている。
- ・かごがついている。
- ・そうじゅうせきがついている。

クイズカードのかきかた

6 教材分析表

要旨	いろいろな自動車が道路を走っている。それぞれの自動車は、それぞれの仕事に合った作りをもっている。			
意味段落	問題提示	バス・乗用車	トラック	クレーン車
小見出し	いろいろなじどう車	バス・じょうよう車	トラック	クレーン車
仕事		人をのせてはこぶしごと	にもつをはこぶしごと	おもいものをつりあげるしごと
作り		ざせきのところがひろくつくてある 大きなまどがたくさんある	ひろいにだいなっている タイヤがたくさんついている	じょうぶなうでがのびたりうごいたりする しっかりしたあしがついている
重要語句	<ul style="list-style-type: none"> ・じどう車 ・しごと ・つくり ・そのために 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとをはこぶ ・ざせき ・ひろく ・大きなまど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものをはこぶ ・ひろいにだい ・タイヤ ・たくさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・つりあげる ・じょうぶなうで ・しっかりしたあし